

1 教師と児童生徒の信頼関係を築くために、あるいは、いじめ・暴力行為・不登校等の生徒指導の課題を解決するために、小・中連携（小中一貫）を通して具体的にどのような取組みをしているか。**1 本校における生徒指導上の課題**

本校の生徒は、明るく、誰とでも分け隔てなく接することができる生徒が多く、全体的に人懐っこい。年々、落ち着いた雰囲気が保てるようになってきており、地域・保護者の学校に対するイメージも良い方向へと変わってきている。しかし、一部には、けじめがなく服装がだらしない生徒、基本的な生活習慣が身につけていない生徒、規範意識に欠ける生徒、学習意欲がなく授業に集中できない生徒、努力して自己の能力を高めることに慣れていないために自己の活動に自信を持っていない生徒もいる。その背景には、家庭環境が複雑である、家庭的・地域的に、経済力・教育力に乏しい、基本的な生活習慣・学習習慣が身につけていない、苦手な事や困難な事から逃れ、楽なほうへ流されやすいといった事柄がある。不登校は改善方向にあり、年々、良い方向へと変わりつつあるものの、友人関係のトラブルや携帯電話でのトラブル、学力不振、無気力などが依然としてある。全体的に幼く、ルーズな面をもった生徒も多く、過去には、器物破損や授業妨害、深夜徘徊、対教師暴力、生徒間暴力、学校間抗争などに発展したり、休み時間や放課後・休日等に学校外で問題が発生したり、他校、他地域とのつながりを持ってトラブルになるケースもあった学校であるため、予断を許さない現状があるため、教職員一丸となって、これまでの生徒指導の取組みを継続し、さらに良い学校を目指しているところである。

2 課題解決に向けての具体的な取組み**① 生徒指導体制の充実と見直し(安全・安心な学校をめざして)**

- ・日中の校門の施錠、登校時の校門指導（遅刻・異装生徒の対応）、毎朝の校門付近での職員打合せ
- ・年度当初における配慮を要する生徒についての情報交換会の実施
- ・問題発生に対する迅速な対応、補修箇所の記録と迅速な対応
- ・生徒指導報告、破損箇所写真を電子データとして記録（全職員による入力）
- ・校長・教頭・生徒指導主任の組織的な対応と報告・連絡・相談の徹底
- ・一人一人を大切にされた指導方法の徹底（生徒の良心を信じ、決してあきらめない援助指導）
- ・協働体制の徹底（お互いを否定せず、長所を伸ばす指導）
- ・生徒指導部会の定例開催（週1回）。議事録の回覧、早期発見・早期対応による解決を図る。
- ・さわやか相談員・SC等との円滑な連携による教育相談活動の充実。
- ・教育相談部会の定例開催（週1回）。議事録の回覧。教育相談部会における指導法の検討。
- ・休み時間を利用した見回り指導。
- ・積極的生徒指導・ガイダンスの導入（前川中ハンドブック、シラバス等）
- ・前川賞（自学賞・親愛賞・鍛錬賞）の表彰

② 生徒活動の充実(集団生活・愛校心の向上と豊かな心の育成をめざして)

- ・自己指導能力を育成する援助（気づかせる、考えさせる指導）
- ・学級活動・学校行事（3days職場体験、高校調べ、校外学習、スキー教室、修学旅行等）での自己指導能力・自治能力の育成とリーダー育成
- ・ケナフ活動の継続（ケナフ栽培・紙すき体験・メッセージカード作り）
- ・エコキャップ活動（本校のみならず、近隣の小学校でも回収箱の設置、回収）
- ・環境についての調べ学習と総合的な学習の発表会の充実（職場体験、グループ研究、個人研究）
- ・合唱コンクールの実施と体育祭における老人会の招待と交流
- ・校内生徒ボランティア活動の充実（資源回収、被災地への募金、サマースクール等）
- ・部活動対抗リレー（体育祭）、部活動対抗駅伝大会（冬季）の実施
- ・前川中人権週間の実施（全校一斉の人権学活の実施、読み聞かせ等）

③ 基本的な生活習慣の確立(規律ある態度の育成、落ち着いた学校づくりをめざして)

- ・登校時の校門指導（教師全員による登校指導、ダブルチェック、服装指導、家庭連絡）の充実
- ・朝のあいさつ運動の充実（保護者・生徒会・生活委員会）
- ・前川中ハンドブック（前川中生の心得）の活用（年度初めに読ませ）、研修会での見直し
- ・月ごとの生活行動目標の掲示・呼びかけ
- ・授業評価・清掃点検カード、服装点検の取組み

- ・教職員による共通理解・共通行動（異装等の場合、直してから学校に入れる。授業妨害、暴力行為、エスケープ等が発生した場合、保護者の理解を得て、一度帰宅させて、保護者と共に再登校させ、指導。個人情報を入力する携帯サイトへ登録させない、また、発見しだい削除させる取り組み）

④ 学力向上に向けた指導方法の見直し(学力向上をめざして)

- ・少人数指導とティームティーチングの実施（数学、英語、保健体育）
- ・学習環境の整備、掲示物の充実
- ・学習規律・学習習慣の確立、シラバスの配布
- ・『前川中授業の約束十ヶ条』による取り組み、アンケートの活用
- ・全校朝読書・帰りの会学習の取り組み（国語、数学、英語）、帰りの会学習テストの表彰
- ・前川学習（家庭学習）の取り組み（点検活動、表彰）
- ・漢字検定・英語検定・数学検定の外部検定の奨励
- ・定期テスト前（全学年1週間）や長期休業中の補習授業の実施
- ・学力テストの実施（学力の把握と意欲づけ）

⑤ 進路指導の工夫(将来への希望、学習・進路に対する意識の向上をめざして)

- ・3 d a y s 職場体験学習（2年）の実施
- ・高校教師による出前授業（市内3校、市外1校からの教員派遣）
- ・進路だよりの全家庭への配布、進路保護者説明会（全学年対象）の実施

⑥ 教育相談活動の充実(生徒理解とよりよい支援、よりよい人間関係づくり、いじめ・不登校の解消をめざして)

- ・家庭訪問（夏季休業中1・2年）と三者面談（夏季休業中3年、2学期は全学年）の実施
- ・教育相談部会の定例実施と校長・教頭の参加。支援方法の検討・決定
- ・生活ノートを活用した情報収集と生徒との人間関係づくり
- ・さわやか相談員、SCと職員とによる不登校生徒の支援
- ・さわやか相談室の配備
- ・アンケート「心と体の安全点検」によるいじめの早期発見・対応、二者面談の実施
- ・校長による全校生徒との面談の実施

⑦ 保護者・地域・小学校との連携(保護者・地域に信頼される学校をめざして)

- ・小学校へのリトルティーチャーの派遣、サマースクール（部活動体験等）の実施
- ・学校だより、学年・学級通信、ホームページの充実による情報公開と啓発
- ・こまめな家庭連絡と家庭訪問の充実（苦情・情報交換等）
- ・学校公開、保護者会、茶話会、家庭教育学級、進路学習会・学校見学会等への積極的な呼びかけ
- ・学校公開、学校評価時における地域・保護者の感想・意見の吸い上げ
- ・前川中学校学区育成会による地区懇談会の実施と教職員の参加
- ・地域（三郷市、八潮市）の祭礼での全職員による巡視

⑧ 関係諸機関との連携

- ・保護者・保護司・民生委員・主任児童委員・健全育成会・警察・調査官、医療機関等との連携
- ・保護者の教育への関心が高まるように、校長を中心とした積極的な働きかけ。
- ・地域の民生委員との情報交換会、育成会による地区懇談会の実施。本校の現状の報告と協力依頼
- ・保護司や警察・調査官および地域青少年育成会との連携しながら生徒支援
- ・管轄警察署との積極的相談